

Aコース

リーダーの役割認識コースのポイント

「リーダーのあるべき姿」について、グループ討議の中から「リーダーの役割と心構え」を学び、「QCサークルリーダーとしての私の行動計画書」を作成し自職場で活用していただきます。

GDアドバイザーの心構え

アドバイザーは、自分の役割、QCサークル活動の運営の基本を熟読し、グループ研修のスムーズな運営と本音での討論ができるようにする。

参加者の不安を取り除き、期待に応えよう！

- ①明るく・楽しく・元気よく、研修を進める。
- ②参加者に研修会の目的を理解してもらう。
- ③参加者に、『研修に参加して良かった』と満足して貰えるようにする。
- ④事前にアドバイザー間で打ち合わせを行い、意思統一を図る。
- ⑤研修を通して、参加者との信頼関係を築こう！

QCサークル東海支部愛知地区
2024年 7月24・25日

会社名	氏 名

研修会のねらいと心構え

1. ねらい

ＱＣサークルリーダーになって間もない方、間もなくＱＣサークルリーダーになる方を対象に、ＱＣサークル活動の基本を学び、日頃の困っていることについて、他社の同じような立場の人達との討議や体験学習を通して、解決策やそれにつながる情報・ヒントを見出すことをねらいとしています。

2. 心構え

研修中は前向きに考えて、「自ら進んで職場に持って帰れるものを見つけよう！」という心構えで研修していただくようお願いします。

- ① 進んで「新しい行動」を試してみる。
- ② 「開放的なコミュニケーション」を心掛ける。
- ③ 「気づいたこと」を討議に活かす。
- ④ せっかちな「価値判断」を控える。

3. グループ意志決定の際の注意事項

- ① 結論・方向づけは原則として、全員一致で決定すること。 1人でも賛成できない人がいたらグループとして充分議論を尽くしてください。
- ② 論争を避けるための理由だけで、容易な妥協をして、自分の答えを変更してはいけません。
(何らかの納得のいく理由が自分の答えを変えましょう)
- ③ 前に譲ったのだから今度は譲れ、というような取り引きをしてはいけません。
- ④ 少数意見はグループにとって、決定する障害ではなく、むしろ他のメンバーが気づかなかった観点を教えてくれている、というように少数意見も大切に扱ってください。
- ⑤ 各個人の考え方、実情を十分に理解し、学ぶことに心掛けてください。

グループ研修の進め方

1. 参加者の立場の理解を！

当研修会に参加されます方は、QCサークル活動を始めて間もない企業や入社して間もない方を含めて、いろいろな企業、立場の方が参加されています。

従って、QCサークル活動の基本、問題解決・課題達成の手順はもちろん、QC手法をよく知らない方もみえますので、**参加者の知識レベルに差があることを認識して、アドバイスをお願いいたします。**

※参加費を払って、学ぶために見えていることを忘れずに対応をお願いします。

2. アドバイザーの心構え

まず、参加者に、自分自身のQCサークル活動での立場をしっかりと認識して頂き、QCサークル活動の基本や問題・課題解決の進め方・QC手法を体得して、職場へ帰ってからQCサークル活動の活性化に結びつけていただくことを目的にグループ研修をしてもらいますが、アドバイザーとして、グループ研修を進める上で、方向を間違えて脱線しないように、「適切なアドバイスを、タイムリーにできる」ことを心掛けてサポートをお願いします。

- (1) グループ研修のスムーズな運営と本音で討論ができるようにアドバイスをすることです。
- (2) 各ステップの基本的な進め方は、テキストに記載してありますが、何よりも大切なことは、参加者の方々の自由な討論の場ですから応用動作として、いろいろな工夫が行われることはかまいません。
- (3) 事前にアドバイザー間で打ち合わせを行い、進め方の意思統一を図る。
- (4) 参加者の受け入れ
 - ① 自分の担当テーブルに必要な備品が揃っているか確認する。
 - ② 参加者が、お見えになったら大きな声で挨拶して、該当テーブルに案内する。
 - ③ 担当グループの配置が分かるように表示をする。
※プロジェクターで、グループ配置図を映しておくといよい。
 - ④ チーフアドバイザーは、参加者が揃ったかを確認してください。

Aコース（リーダーの役割認識コース）

スケジュール

「リーダーのあるべき姿」について、グループ討議の中から、「リーダーの役割と心構え」を学び「QCサークルリーダーとしての私の行動計画書」を作成し、自職場で活用していただく。

時 間		項 目	発表資料
9:15~9:20	5分	開会あいさつ・お知らせ	
9:20~9:50	30分	QCについて	
9:50~10:00	10分	進め方説明	
10:00~10:35	35分	グループの旗づくり	発表資料 1
10:35~10:55	20分	QC 手法の説明	
10:55~11:35	40分	QC サークル活動の目的を考える	発表資料 2
11:35~12:20	45分	QC サークルリーダーとしての『あるべき姿』の意思統一	発表資料 3
12:20~13:05	45分	昼食	
13:05~14:15	70分	リーダーのやるべきことの洗出し	発表資料 4
14:15~14:55	40分	リーダーのやるべきことの充実と仕上げ	↑
14:55~15:35	40分	リーダーとしての心得3カ条の策定	発表資料 5
15:35~16:05	30分	私の行動計画書の作成	
16:05~16:35	30分	研修結果発表と講評	
16:35~17:05	30分	なんでも相談会	
17:05~17:10	5分	アンケート記入	
17:10~17:15	5分	閉会挨拶	

※1. ステップ別所要時間は目安です。各グループで自主管理をお願いします。

※2. 発表資料は、グループアドバイザーに提出してください。

※3. 発表資料のコピー配布はしませんので、必要な方は、ご自身のスマホ等で撮影ください。

これは必ず「進め方の説明」で伝える

1. グループの旗づくり

(1) 自己紹介

- ①参加券の「情報交換メモ」を参考に、1分/1人程度で自己紹介してください。
- ②会社名、氏名、業務内容、サークルでの立場、趣味・特技など。
- ③お互いをより知るために積極的に質問などをしてください。

①名札(会社名、氏名記入)・ここでお互いを知る。
②リーダーの目星を付けておく。

(2) 役割分担

- ①ひとり一役、全員で役割分担をしてください。
- ②リーダー(1名)、サブリーダー(1名)、発表者(1名)、書記(2名)、発表時の質問者(1名)、時間係(1名)、5S責任者(1名)など

リーダーが決まったら、以降は
リーダーに進行してもらう。

(3) グループのネーミング・シンボルマーク

- ①グループの特長を表わしてください。
- ②時間が無い場合は、昼休みなど利用して発表までに完成させてください。

(4) グループの決め事(指針・ルール)

- ①グループ活動を効果的に運営するための約束事を具体的に行動できるレベルで3項目以上決める。(守られている事が誰にでも分かること)
- ②着眼点: 意思決定はどのようにするのか。 グループの運営の仕方は。 行動面では何を注意するか。 時間管理はどうか。
- ③他人の意見を批判しない。

★活動終了時に全員で評価を実施します

<参考例>

AコースGD記録用紙(発表資料1)

事務・販売・サービス入門・初級研修会

グループの旗		シンボルマーク		年 月 日		
Aコース: グループ		<p>グループの特徴を表すマークを考えさせる。 時間がない時は、討議の合間に考えるようにアドバイスする。</p>		テーブルアドバイザー		
グループのネーミング				アドバイザー		
役割分担		グループの決め事				
No.	役 割	氏 名	会 社 名	No.	内 容	評価
1	リーダー			1	みんなが積極的に発言する	
2	サブリーダー			2	みんなが時間を守る	
3	発表者			3	グループの決め事は、 3～5項目を決めさせて 討議の最後に守れたか 評価をさせる。	
4	書記1			4		
5	質問者			5		
6	時間係					
7	5S責任者					
8	書記2					
9						

(※評価は、○、△、×等で記入する)

(グループ意志決定の際の注意事項)

- ①答えは原則として、全員一致で決定すること。1人で決めることは避け、グループとして充分議論を尽くしてください。
- ②論争を避けるための理由だけで、容易な妥協をして、自分の答えを変更してはいけません。何らかの納得のいく理由があれば自分の答えを変えてもよい。
- ③前に譲ったのだから、今度は譲れというような取引をしてはいけません。
- ④少数意見はグループにとって、決定する障害ではなく、むしろ他のメンバーの気づかなかった観点を教えてくれているというように、少数意見も大切に扱う。
- ⑤ 各個人の考え方、実情を十分に理解し、学ぶことに心掛けてください。

★活動終了時に全員で評価を実施します

★評価は、○、△、×等で記入

※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう

2. QC手法の説明

- ① QC手法は、このコースで使う「系統図、マトリックス図法」を重点に説明する。
- ② ギャップ(問題・課題)の説明を入れる。

3. QCサークル活動の目的を考える

- (1) 「QC について」から学んだ QC サークル活動の目的と、皆さんの職場の QC サークル活動の実態を話し合って、現在あるギャップ（問題・課題）を書き出す。
- (2) 話し合った結果を次の表にまとめていきます。

QCサークル活動の目的と職場の実態

A コース GD 記録用紙（発表資料2）

事務・販売サービス入門初級研修会

QCサークル活動の目的と職場の実態

ギャップ（問題・課題）はテキスト「1. QCストーリーとは」を説明し問題・課題を理解させる。
「活動の実態」・「ギャップ（問題・課題）」は自分達の責任において書出す様にアドバイスする。

QC サークル活動の目的	目標を達成した職場のあるべき姿	QC サークル活動の実態	ギャップ（問題・課題）
1. 個人の能力向上 （人材を育成し、技能を伝承）	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の問題を理解している ・率優先 QC サークル活動に参加する ・教育できる人材がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・QC サークル活動に対する意識が薄い ・教育できる人材がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・QC サークル活動の基本的な考え方を認識させる ・教育できる人材が必要
<p>目的は用紙に記載してありますが、グループ全員で読んで、目的を達成した職場のあるべき姿の状態を理解し、自職場の実態・ギャップを再確認する。表現方法は変更・補足も可とする。</p>			
2. 職場のチームワークを良くする （コミュニケーションのとれる職場作り）	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内の問題が共有化されている ・全員参加の QC サークル活動をリーダーが推進している ・上司と意見交換を活発に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・会合時間がとれない ・上司との連帯がない ・情報の共有化ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に QC サークル活動を実地する必要がある ・上司を交え情報を共有化する必要である

※QCサークル活動の目的を学び、お客様満足度向上および社会（会社）への貢献を理解して頂く

4. QCサークルリーダーとしての『あるべき姿』の意思統一

日頃QCサークル活動を通じて、皆さんが思い描いているリーダーとしての『あるべき姿』をグループ全員で討議して、明確にしていきます。
グループのメンバーそれぞれが、思い描くリーダーの姿は異なっていると思います。まず、皆さんが頭の中で考えていることを話し合って、『リーダーとしてのあるべき姿』に対してグループ全体で共通認識を持つようにしてください。

1)『あるべき姿』の引き出し方

1. 上司が期待している姿はどうか？

2. サークルメンバーが期待している姿はどうか？

について話し合い最終的に

3. 自分達が思い描くQCサークルリーダーの『あるべき姿』を明確にする。

* あるべき姿は、3項目で簡潔に表現する。

2)QCサークルリーダーとしての「あるべき姿」の意思統一

A コース GD 記録用紙（発表資料3）

①あるべき姿は、行動形で表現するようにする。

②あるべき姿は、目的と実態、ギャップ（問題・課題）を考えて設定させる。

QCサークルリーダーとしての「あるべき姿」の意思統一

1. 上司が期待しているリーダーの姿

- (1) 工夫する意欲をもつ人
- (2) リーダーシップがとれる人
- (3) 自己啓発ができる人
- (4) 計画的に実行できる人
- (5) 情報の共有化ができる人
- (6)

2. サークルメンバーが期待しているリーダーの姿

- (1) 頼りになる人
- (2) 行動力のある人
- (3) 決断力のある人
- (4) 計画的に実行できる人
- (5) 情報の共有化ができる人
- (6)

について話し合い、最終的に3項目に絞り込ませる。

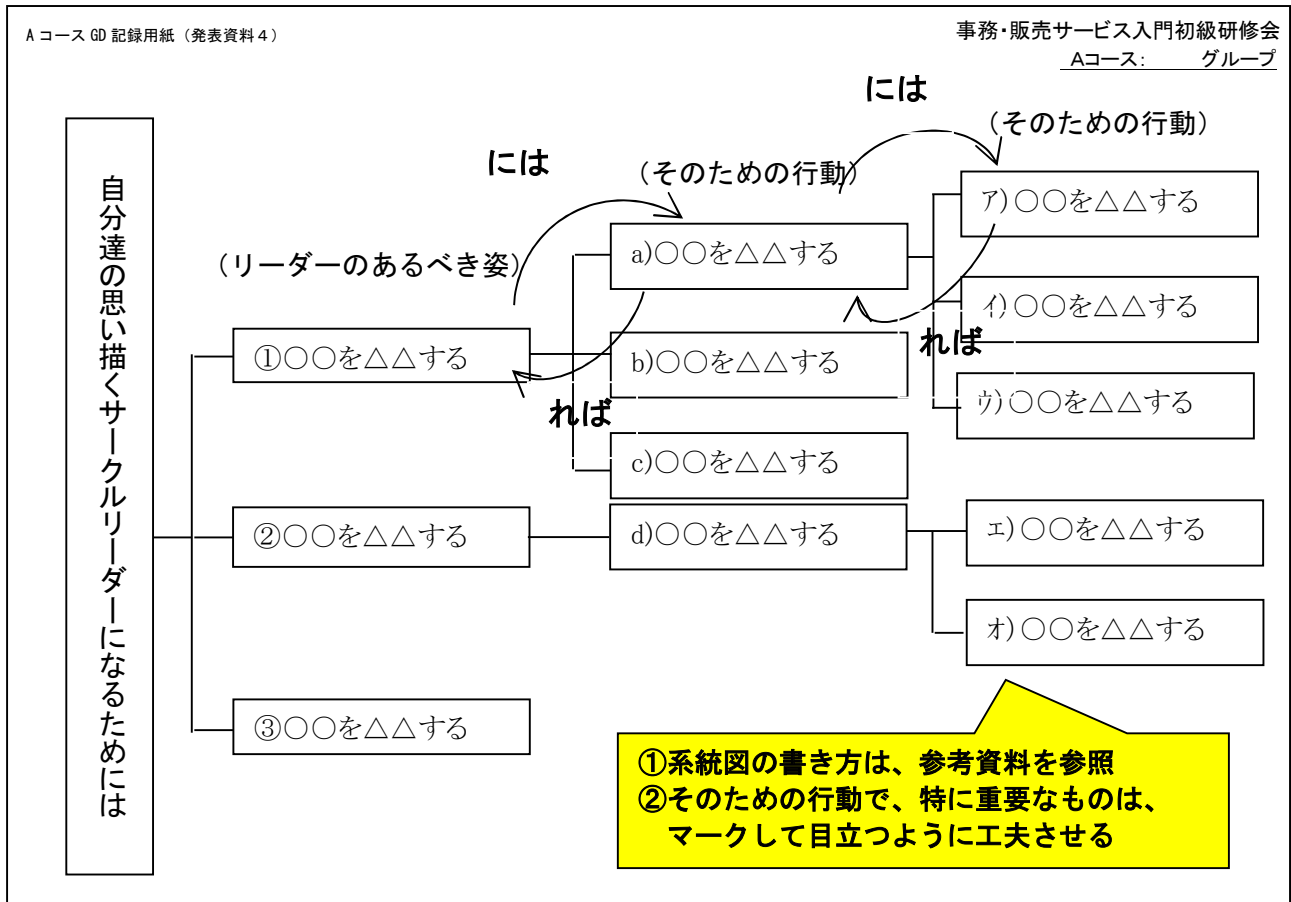
3. 自分達が思い描くQCサークルリーダーの『あるべき姿』

- ① サークルを団結する力をもつ人
- ② サークルの人材育成ができる人
- ③ 改善を計画的に進めることができる人

5. 『リーダーのやるべきこと』の洗出し

グループで共通認識が得られたQCサークルリーダーの『あるべき姿』を考えた場合に、リーダーが何をすればその『あるべき姿』を達成できるのか、そのための行動を考えます。

まとめ方は、次の例を参考に、各グループの個性を発揮して、『リーダーのやるべきこと』を具体的に数多く出して、目で見える形にしてください。



やるべきことの出し方

(1) グループのメンバーが各自で考え、その内容をカード（付箋）に書く。

カード（付箋）記入上の注意点（ブレインストーミング法）

- ① 自由に書くこと。
「誰かがもう書いているだろう」、「こんなことは当たり前」、「こんな事を書く」と笑われそうだが、考えずに書くこと。
- ② 誰でもわかる表現で、具体的に書くこと。
- ③ やり方についての具体的なアイデアを盛り込むこと。
- ④ 1枚のカードには、ひとつの事柄を書くこと。
[カード例]
 - ・職場の問題点を常に把握している。
 - ・データの取り方について指導している。
 - ・効果を実績の数値で把握している。

(2) 書かれたカードを読み合せしながら系統図に整理していく。（親和図法）

(3) カードの内容がわかりにくい時は、お互いに質問し、わかりやすい表現に書換えたり、他に気づいたことがあれば、カードに記入し追加していく。

[参考例]QCサークルリーダーの役割（QCサークル活動運営の基本から抜粋）

- ① QCサークルをまとめていく。
- ② QCサークル会合の日時・場所・テーマなどを全員の意見を聞きながら決める。
- ③ QCサークルの進め方の方向づけをする。
- ④ メンバーの努力をつくりだす。そのためには、全員参加・全員発言・全員分担になるように出来る工夫が必要である。
- ⑤ QCサークル全体の良い人間関係を作り出す。
- ⑥ 他のQCサークルや管理職との関係をうまく調整する。
- ⑦ 仕事上の専門知識や固有技術、あるいはQC手法などについてメンバーを指導する。
- ⑧ 他のサークルリーダーと、できるだけ話し合う機会をつくり、情報交換につとめる。

6.『リーダーのやるべきこと』の充実と仕上げ

- (1) 出されたカードを整理した系統図などを、全員で良くながめて再検討し内容を充実させる。
- (2) ここで完成させた『リーダーのやるべきこと』は、今後のQCサークル活動をうまく進めていくためのマニュアルとしてそのまま使えるものになりますので、十分に討議を重ねてください。
- (3) まとめたものの中で、特に重要なものはマークするなど、目立たせると良い。

7.『リーダーとしての心得3カ条』の策定とまとめ

- (1) これまでグループ全員で討議したことを基に、これからQCサークル活動をどう進めていくかについて話し合い、『リーダーとしての心得3カ条』を作成します。

[例]

事務・販売・サービス入門・初級研修会	
A コース GD 記録用紙（発表資料5）	
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px 10px;">リーダーとしての心得3カ条</div> <div style="float: right; margin-top: -15px;">Aコース: _____ グループ _____</div>	
決意表明(メンバー全員が記入)	
<p>第 1 条 リーダーは、年齢や職位にこだわらずメンバー全員と平等に接し結束力を高める</p> <p>第 2 条 リーダーは、自分自身の固有技能を高め、サークルの現状を把握し目標を決め、計画的(長期スパン)に人材育成を進める</p> <p>第 3 条 リーダーは、職場の問題点を全員が共有できる風通しの良い環境を作り「一日一善」の精神であせらずに実行する</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"><div>Aさん:</div><div>Bさん:</div><div>Cさん:</div><div>Dさん:</div><div>Eさん:</div><div>Fさん:</div></div>

グループメンバーの一人ひとりの「決意表明」を書かせる。
「私の行動計画書」を作成する時の参考になる。

- (2) グループの決め事」を評価する。
- (3) 発表資料を完成させ、発表の準備をする。

8.『QCサークルリーダーとしての私の行動計画書』の作成

各自が職場へ帰ってからすぐに行動できるように『QCサークルリーダーとしての私の行動計画書』を作成します。

Aコース GD 記録用紙（発表資料 6）

事務・販売サービス入門初級研修

QCサークルリーダーとしての私の行動計画書

Aコース: グループ

会社名 〇〇〇〇株式会社	所 属 〇〇〇〇部〇〇〇課	氏名 〇〇 〇〇	作成場所 愛三文化会館	作成年月日	
私の決意表明（リーダーとしての心得3カ条などから）					
No.	今後やるべきこと （2～3項目）	実施項目 （自分で何をやるのか）	具体的方法 （どのような方法でやるのか）	活動期間 （いつから、いつまで、回数）	完了時点の 自己評価欄
①					
②					
③					
上司のアドバイス		(計画時)		(完了時)	

【経路】本人⇒研修会事務局⇒各社事務局⇒上司⇒本人

作成時のポイント

- ① 自分の担当するサークルを念頭におきながら書きます。
 - ・サークルのレベル、おかれた状況、メンバーの性格など思い出しながら書く。
- ② 私の決意表明
 - ・『リーダーとしての心得3カ条』をポイントに、この研修で感動や共感したこと、ヒントになったことなど自分の実感も込めて泥臭くかつ簡潔に明瞭にまとめる。
 - ・「私の決意表明」の欄に記入してください。
- ③ 今後やるべきこと
 - ・『リーダーのやるべきこと』の中から「これだけは何とかやってみよう」というものを2～3項目取り上げ、具体的な行動計画を作成します。

9. 結果の発表と講評

- (1) 2 から 3 グループで討議結果と各自の決意を発表する。
発表準備：1 分 発表：5 分 質疑：2 分/グループ 講評＜アドバイザー＞：2 分
- (2) 総合講評
全ての発表終了後、会場世話人がおこないます。
- (3) 発表資料は、グループアドバイザーに提出してください。

10. なんでも相談会

皆さんが日頃活動を進める中での悩み事、わからないことや研修会中に発生した問題点や質問などに愛知地区の役員・幹事がアドバイスをします。

グループの旗

Aコース: グループ

グループのネーミング

シンボルマーク

グループの特徴を表すマークを考えさせる。
時間がない時は、討議の合間に考えるようにアドバイスする。

年 月 日

チーフアドバイザー

アドバイザー

役割分担

No.	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー		
2	サブリーダー		
3	発表者		
4	書記1		
5	質問者		
6	時間係		
7	5S責任者		
8	書記2		
9			

グループの決め事

No.	内 容	評価
1	みんなが積極的に発言する	
2	みんなで時間を守る	
3		
4		
5		

(※評価は、○、△、×等で記入する)

QCサークル活動の目的と職場の実態

AコースGD記録用紙(発表資料2)

ギャップ(問題・課題)はテキスト「1.QCストーリーとは」を説明し問題・課題を理解させる。
「活動の実態」・「ギャップ(問題・課題)」は自分達の責任において書出す様にアドバイスする。

事務・販売・サービス入門・初級研修会

QCサークル活動の目的	目標を達成した職場のあるべき姿	QCサークル活動の実態	ギャップ(問題・課題)
1. 個人の能力向上 (人材を育成し、技能を伝承)	<ul style="list-style-type: none"> 職場の問題を理解している 率先しQCサークル活動に参加する 教育できる人材がいる 	<ul style="list-style-type: none"> QCサークル活動に対する意識が薄い 教育できる人材がいない 	<ul style="list-style-type: none"> QCサークル活動の基本的な考え方を認識させる 教育できる人材が必要
<p>目的は用紙に記載してありますが、グループ全員で読んで、目的を達成した職場のあるべき姿の状態を理解し、自職場の実態・ギャップを再確認する。表現方法は変更・補足も可とする。</p>			
2. 職場のチームワークを良くする (コミュニケーションのとれる職場作り)	<ul style="list-style-type: none"> 職場内の問題が共有化されている 全員参加のQCサークル活動をリーダーが推進している 上司と意見交換を活発に行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 会合時間がとれない 上司との連帯がない 情報の共有化ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的にQCサークル活動を実地する必要がある 上司を交え情報を共有化する必要である

※QCサークル活動の目的を学び、お客様満足度向上および社会(会社)への貢献を理解して頂く

QCサークルリーダーとしての「あるべき姿」の意思統一

1. 上司が期待しているリーダーの姿

- (1) 工夫する意欲をもつ人
- (2) リーダーシップがとれる人
- (3) 自己啓発ができる人
- (4) 計画的に実行できる人
- (5) 情報の共有化ができる人
- (6)

2. サークルメンバーが期待しているリーダーの姿

- (1) 頼りになる人
- (2) 行動力のある人
- (3) 決断力のある人
- (4) 計画的に実行できる人
- (5) 情報の共有化ができる人
- (6)

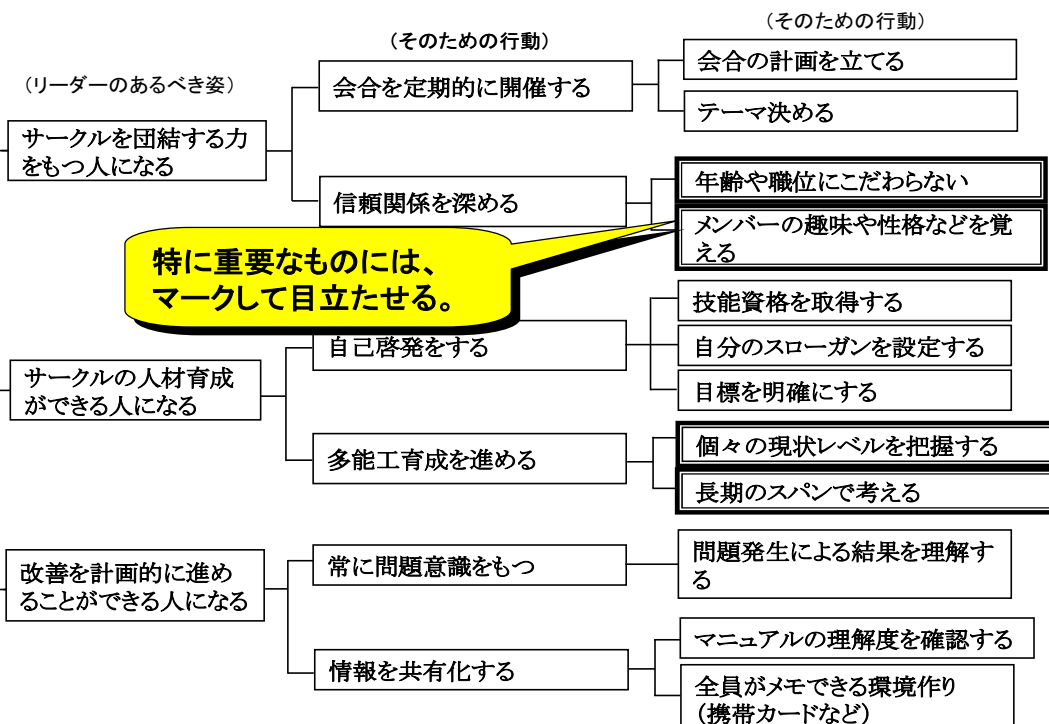
について話し合い、最終的に3項目に絞り込ませる。

3. 自分達が思い描くQCサークルリーダーの『あるべき姿』

- ① サークルを団結する力をもつ人
- ② サークルの人材育成ができる人
- ③ 改善を計画的に進めることができる人

QCサークルリーダーのやるべきこと

自分達の思い描くサークルリーダーになるためには



リーダーとしての心得3カ条

Aコース: _____ グループ

決意表明(メンバー全員が記入)

第 1 条

リーダーは、年齢や職位にこだわらず
メンバー全員と平等に接し結束力を
高める

第 2 条

リーダーは、自分自身の固有技能を
高め、サークルの現状を把握し目標
を決め、計画的(長期スパン)に人材
育成を進める

第 3 条

リーダーは、職場の問題点を全員が
共有できる風通しの良い環境を作り
「一日一善」の精神であせらずに実行
する

Aさん:

Bさん:

Cさん:

Dさん:

Eさん:

Fさん:

事務・販売・サービス入門・初級研修会

QCサークルリーダーとしての私の行動計画書

Aコース: _____ グループ

会社名 〇〇〇〇株式会社	所 属 〇〇〇〇部〇〇〇課	氏 名 〇〇 〇〇	作成場所	作成年月日 年 月 日 ()	
私の決意表明(リーダーとしての心得3カ条などから) リーダーとメンバーの信頼関係を深めたサークル作り					
No.	今後やるべきこと (2〜3項目)	実施項目 (自分で何をするのか)	具体的方法 (どのような方法でやるのか)	活動期間 (いつから、いつまで、回数)	完了時点の 自己評価欄
①	私はメンバーに平等に接し円滑に会合ができるようにする リーダーとしてのやるべきことから2〜3項目選ばせて記入させる ※追加項目があってもよい。	・会合を定期的に開催する。 ・メンバーとの信頼関係を深める	・会合の計画を立てる ・テーマを決めておく。 ・年齢や職位にこだわらずに活動する ・メンバーの成長を知る	・月2回の会合 ・来月から ここは実践後の自己評価なので この場では記入しないことを伝える。	
②	私は、自分自身の固有技能を高め、後輩に伝承する	・自己啓発に努力する ・多能工育成を推進する	・QCCの本を読む ・自分のスローガンを設定する ・個々人の現状を把握する	・1年間継続する ・すぐに設定 ・3カ月以内	
③	私は、改善意識と環境作りを積極的に進め、全員の模範となるようにする	・問題意識を持つ ・情報を共有化する	・後輩に改善内容を教え、書かせる ・改善提案を活用する ・ノートに記録する	・改善提案を月2件 提出する ・毎月記録する	
上司のアドバイス		(計画時)	(完了時)		

【経路】本人⇒研修会事務局⇒各社事務局⇒上司⇒本人